

- 問1 平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が発展しました。この時期、かな文字を用いて宮廷の貴族社会の様子や人間模様を生き生きと描いた長編小説『源氏物語』の作者として正しい人物を選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 紫式部 2. 和泉式部 3. 紀貫之 4. 清少納言
- 問2 平安時代後期、白河天皇は天皇の位を譲って上皇となった後も、それまで有力貴族が独占していた政治上の実権を自らの手に取り戻そうとしました。このように、上皇が摂政や関白の力を抑えて直接政治を行う体制を何といいますか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 律令政治 2. 武家政治 3. 摂関政治 4. 院政
- 問3 平清盛が、瀬戸内海の航路や兵庫の港（大輪田泊）を大規模に整備した主な目的として、最も適切な背景はどれか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. キリスト教の布教を目的とする宣教師を保護し、ヨーロッパの先進的な武器や技術を導入するため。 2. 宋（中国）との貿易を活発にし、そこから得られる莫大な利益を平氏一族の経済的基盤とするため。 3. モンゴル帝国の侵攻に備えるための軍事拠点を構築し、瀬戸内海の制海権を完全に掌握するため。 4. 遣唐使の廃止によって途絶えていた大陸との公式な国交を、朝廷の命を受けて正式に再開させるため。
- 問4 平安時代初期、最澄が唐で学び、比叡山に延暦寺を建てて広めた仏教の宗派として正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. 真言宗 2. 時宗 3. 天台宗 4. 浄土宗
- 問5 天皇家から分かれ、平高望を起点として平清盛へと続く系図に示されるような「平氏の出自」は、彼らが武士団として台頭する上でどのような役割を果たしましたか。その背景として最も適切なものを選んでください。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 源氏の末裔であることを証明することで、武家の棟梁としての正当性を主張する材料となった 2. 高貴な身分を背景に、他の武士をまとめ上げたり朝廷の政治に関わったりする根拠となった 3. 天皇の血を引いていることを理由に、一切の軍事活動を禁じられ貴族文化に専念するきっかけとなった 4. 地方の豪族と同じ立場であることを強調し、農民たちの支持を広く集める要因となった
- 問6 平安時代初期、最澄が唐から伝えた教えをもとに、比叡山延暦寺を拠点として日本に広めた仏教の宗派を何といいますか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 禅宗 2. 真言宗 3. 浄土宗 4. 天台宗
- 問7 平安時代の文化的な特徴について述べた次の文のうち、かな文字の普及や当時の生活様式について正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 唐の都である長安を模した平城京を中心に、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化が展開された。 2. 浄土信仰が広まる中で、貴族たちは極楽浄土の様子を表現するために、簡素で装飾のない禅宗様式の寺院を多く建立した。 3. 漢字をもとにした「かな文字」が使われるようになり、日本人の感情を表現した『古今和歌集』などの作品が編纂された。 4. 運慶や快慶などの仏師が活躍し、東大寺南大門の金剛力士像に代表されるような、写実的で力強い彫刻が流行した。
- 問8 藤原兼家から道長、頼通へと続く藤原氏の系図と、当時の皇室の系図を照らし合わせると、藤原氏が「摂政」や「関白」の役職を独占していたことが分かります。こうした役職の使い分けについて述べた、次の文の空欄にあてはまる組み合わせとして正しいものを選びなさい。「藤原氏は、天皇が幼少である時には（X）として政治を代行し、天皇が成人した後は（Y）として天皇を補佐することで実権を維持した。」 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. X：執権 Y：連署 2. X：関白 Y：摂政 3. X：摂政 Y：関白 4. X：太政大臣 Y：征夷大將軍
- 問9 12世紀後半、武士として初めて太政大臣に就任した平清盛は、大陸との貿易を積極的に進めて経済力を蓄えました。清盛が瀬戸内海の航路を整備し、現在の神戸市にあたる大輪田泊を改修してまで、積極的に貿易を行おうとした当時の中国の王朝名を答えてください。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 宋 2. 唐 3. 元 4. 明
- 問10 外交史の年表において、九世紀後半に遣唐使が廃止された時期と同じころ、日本の地方政治では大きな混乱が見られました。この時期の地方政治の様子として最も適切な説明を、次のうちから選んでください。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 中央から派遣された国司が、徴収した税を私物化するなどして地方政治が乱れた。 2. 大宰府が新たに設置され、海外からの侵攻に備えた軍事的な整備が急速に進んだ。 3. 地方豪族の力を抑えるために、国司による監督体制がそれまで以上に強化された。 4. 二毛作が全国的に普及したことで農村が豊かになり、国司の徴税業務が軽減された。
- 問11 京都の宇治にある平等院鳳凰堂は、藤原頼通によって造営された阿弥陀堂であり、極楽浄土の様子を表現した優美な建築様式で知られている。この建物がつくられた時期の政治の特徴として、最も適切なものはどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 天皇が幼いときは摂政、成人後は関白として実権を握った 2. 征夷大將軍が、御家人と御恩と奉公の関係を結んで政治を行った 3. 天皇の位を譲った上皇が、院序を開いて政治を行った 4. 天皇中心の国づくりを目指し、公地公民制を導入した
- 問12 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子が政治の実権を握っていた時期の体制について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. 天皇が位を譲って上皇となり、天皇の父方の親戚として実権を握りながら政治を行う院政。 2. 地方の有力な武士と養子縁組を繰り返し、武力による裏付けをもって朝廷の役職を独占する武家政治。 3. 天皇との親戚関係を一切持たず、実力主義で選ばれた官僚たちが合議によって政治を行う律令政治。 4. 自身の娘を天皇の後とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。
- 問13 平安時代末期に白河上皇が始めた「院政」の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 武士の棟梁が征夷大將軍に任命され、幕府を開いて全国の守護や地頭を統制した。 2. 天皇の母方の親戚である藤原氏が、摂政や関白となって政治を独占した。 3. 上皇が独自の軍事力として「北面の武士」を置き、仏教を厚く信仰して法皇となることもあった。 4. 天皇が自ら政治を行う「親政」を強化し、律令に基づく中央集権体制を再建した。
- 問14 1156年に発生した保元の乱は、平安時代末期の政治状況を大きく変えるきっかけとなりました。この政変の直接的な原因となった、当時の朝廷内における対立関係を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い 2. 摂関政治を維持しようとする藤原氏と、新興武士層との対立 3. 武家政権の樹立を目指す武士団による、朝廷への反乱 4. 將軍の跡継ぎ問題をきっかけとした、守護大名同士の勢力争い